

# 3号機復水器内ホットウェル天板上部 貯留水水抜実績について

2017年6月29日

TEPCO

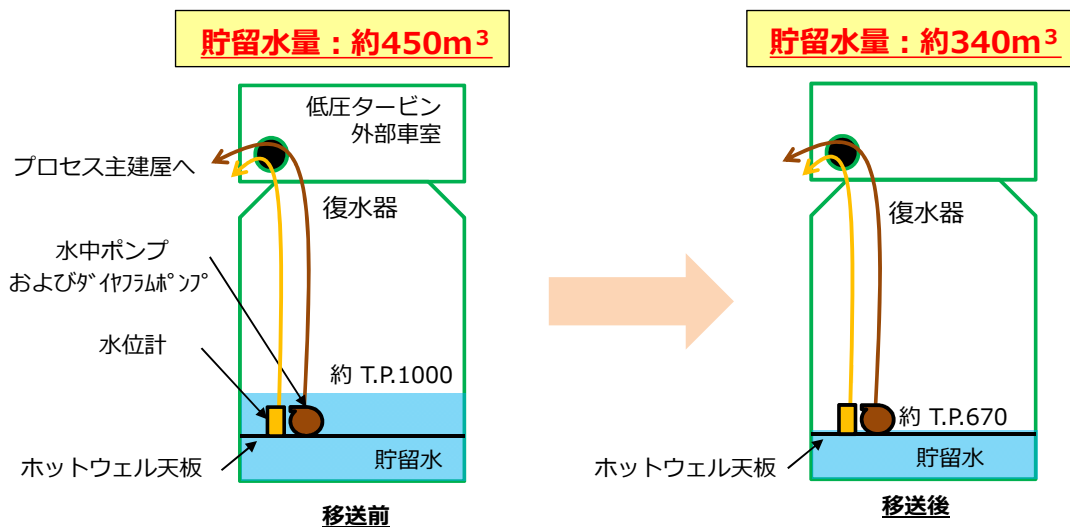
東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

## 1. 3号機復水器内貯留水水抜実績について

TEPCO

- 3号機復水器内ホットウェル天板上部まで貯留水の水抜が完了。  
実施期間：2017年6月1日～2017年6月6日
- 遠隔カメラ等を使用し復水器内構造物等の調査を実施し、ホットウェル天板下部の水抜方法を決定する。



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

## 【参考】 3号機復水器内貯留水の放射能濃度について **TEPCO**

- 貯留水の放射能濃度について、水抜前、水抜中にサンプリングを実施した結果を以下に示す。  
⇒貯留水の放射能濃度傾向に大きな変化はなかった。

復水器内貯留水放射能濃度の推移

採取日	2017.1.11 【水抜前】	2017.6.1 【水抜中】
貯留量【m <sup>3</sup> 】	約 450	約 400
放射能濃度（Cs137）【Bq/L】	約 $5.0 \times 10^8$	約 $5.4 \times 10^8$

※サンプリングはいずれも復水器(B)より実施

## 【参考】 第二セシウム吸着装置への影響

**TEPCO**

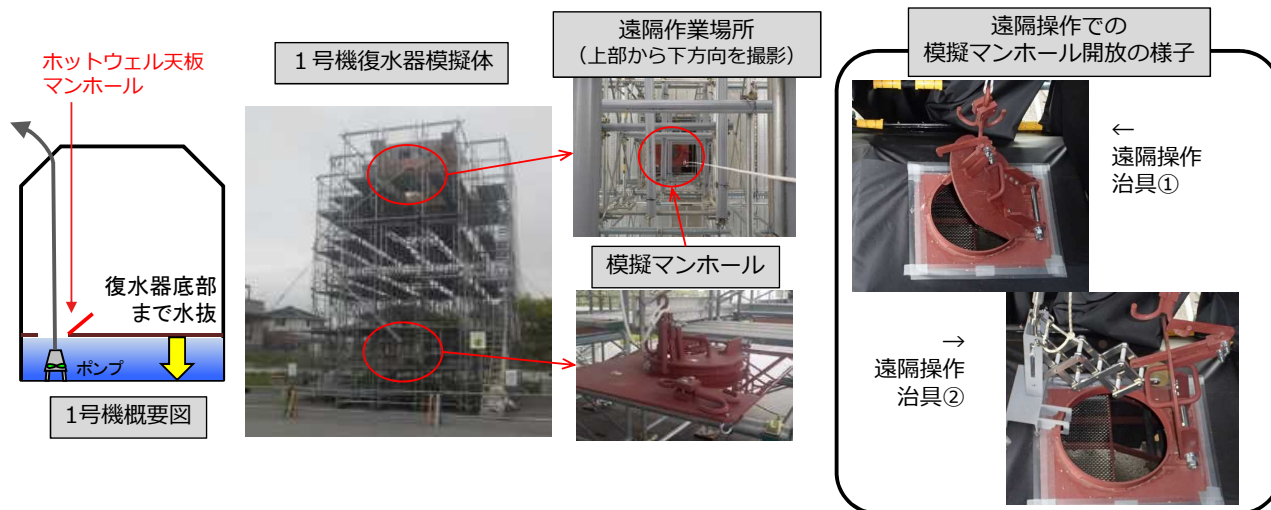
- 3号機復水器内貯留水はプロセス主建屋に移送し、引き続き第二セシウム吸着装置にて処理を行った。移送による影響を確認するため、移送前後にわたって第二セシウム吸着装置入口水（プロセス主建屋滞留水と同等の放射能濃度）のサンプリングを実施。その際の放射能濃度を以下に示す。  
⇒移送前の第二セシウム吸着装置入口水のCs137の濃度と比較し、移送中・後は上昇が見られたが、吸着装置の運転に影響を及ぼすものではなかった。

第二セシウム吸着装置入口水放射能濃度の推移

採取日	2017.5.30 【移送前】	2017.6.2 【移送中】	2017.6.6 【移送中】	2017.6.9 【移送後】
装置入口水（Cs137）【Bq/L】	$6.6 \times 10^7$	$6.9 \times 10^7$	$7.7 \times 10^7$	$7.3 \times 10^7$

## 2. 1 1号機復水器ホットウェル天板下部貯留水の水抜に向けた検討状況について

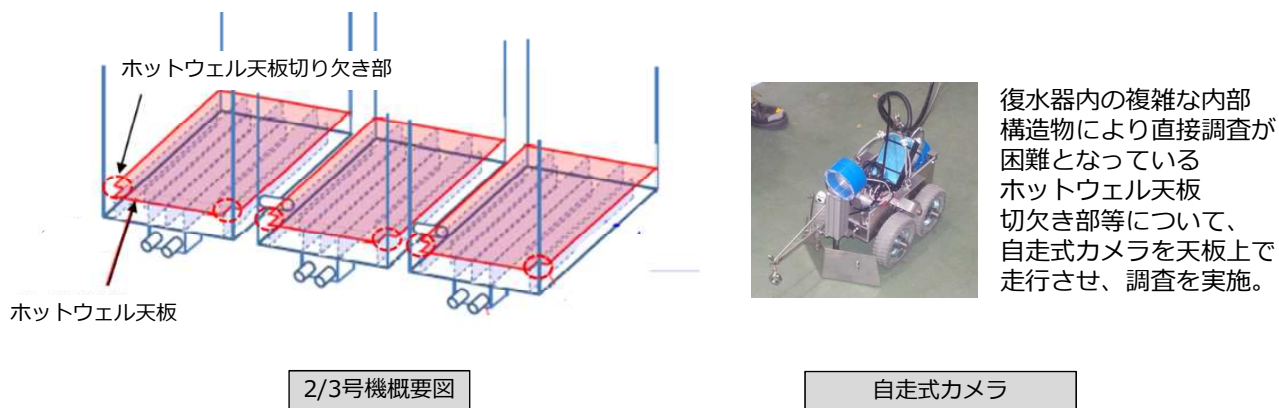
- 1号機のホットウェル天板マンホールの開放及び干渉物を撤去し、復水器底部にポンプを設置して、ホットウェル天板下部貯留水を移送する計画。
- ホットウェル天板マンホールの開放作業等は線量条件等を考慮し、遠隔で実施する必要があるため、2017年5～6月にモックアップを実施し、遠隔作業が可能であることを確認。
- 今週から現場作業を開始し、2017年9月目途で水抜を完了予定。



1号機復水器ホットウェル天板マンホール開放モックアップの様子

## 2. 2 2/3号機復水器ホットウェル天板下部貯留水の水抜に向けた検討状況について

- 2/3号機のホットウェル天板には切欠き部があり、当該部へポンプを設置し、ホットウェル天板下部貯留水を2017年度中に移送する計画。
- 自走式カメラを2/3号機復水器内に投入して、ホットウェル天板上の調査を実施し、調査結果に基づきポンプ設置方法を検討予定。



2/3号機復水器ホットウェル天板切り欠き部の調査状況

### 3. スケジュール

- 現在、各号機のホットウェル天板下部の水抜に向け、調査・検討、対応中。
- 各号機の水抜方法が確定し次第、今後の水抜スケジュールを決定する。

作業内容		1月	2月	3月	4月	5月	6月 現在	7月	8月 以降
1号機	作業準備（現場）								▶
	遠隔作業モックアップ（構外）								
	マンホール開放、ポンプ設置、移送ライン設置作業								▶
2号機	ポンプ設置、移送ライン敷設								
	ホットウェル天板上部水抜								
	復水器内構造物の調査およびホットウェル下部水抜方法の検討								▶
3号機	ポンプ設置、移送ライン敷設								
	ホットウェル天板上部水抜								
	復水器内構造物の調査およびホットウェル下部水抜方法の検討								▶